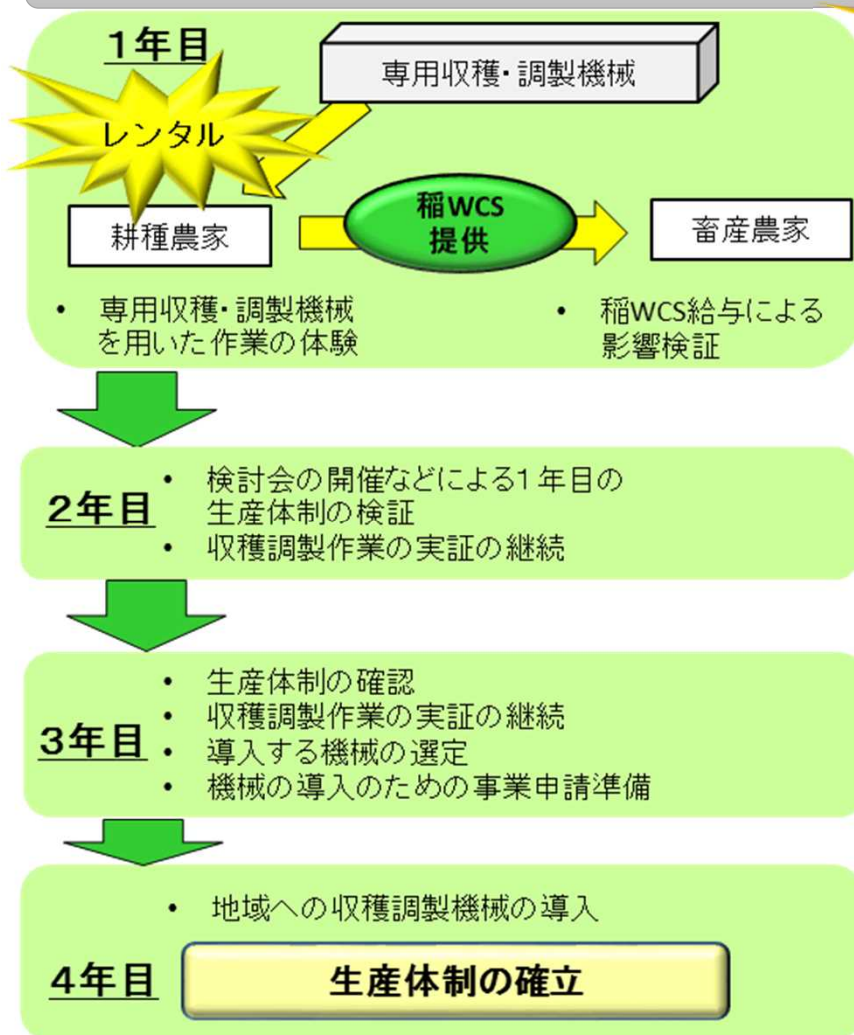


【耕畜連携、広域流通】（高知県 南国市耕畜連携協議会）

- 輸入飼料価格の高騰を機に、県内の酪農や稲作の主要地である南国市において、耕種農家が飼料稲を栽培・収穫・調製、酪農家が運搬・保管、給与する取組を開始。
- 平成27年に耕種農家7戸及び畜産農家4戸で設立された南国市耕畜連携協議会は、平成27年度に県の補助事業を活用し稲WCS専用収穫機等導入。構成員の畜産農家へ稲WCSを供給し、堆肥を耕種農家のほ場へ還元する体制を確立。
- 稲WCS※供給先については、旧JA土佐れいほく、旧JA土佐あき、香南市、田野町の畜産農家（酪農・肉用牛）へ範囲が拡大。本協議会での稲WCSの作付・収穫面積は平成28年 26.6ha から令和3年 51.8ha と増加。

高知県稲発酵粗飼料利用促進事業



利用供給体制確立へ
県内各地域の普及を推進



【稲WCS生産面積】(ha、概数)

	H28	H29	H30	R元	R2	R3
高知県	199.7	225.4	228.2	236.1	239.0	262.9
協議会	26.6	37.2	37.8	45.2	44.4	51.8